

賞

第10回北海道食育推進優良活動表彰 表彰者活動紹介

高橋 未佳 (釧路市)

- ・釧路短期大学生生活科学科講師
- ・ジビエ利活用コーディネーター



エゾシカ伝道師として、道内のエゾシカの現状やエゾシカ肉の調理方法などを伝える活動を実施

活動開始年：平成29年（2017年）

取組のきっかけ

栄養士免許取得の課程で、北海道で駆除される14万頭のエゾシカの8割が廃棄されているという現状を知り、エゾシカ肉の普及活動を開始。同時に、衛生的にも安全で、美味しいエゾシカ肉の流通のため、北海道が推奨するエゾシカ肉処理施設認証制度と認証エゾシカ肉を広く知ってもらう活動を開始。

取組の内容

人間の生活を守るための駆除の必要性に加え、エゾシカ肉の優れた特性と、衛生的にも安全で美味しい認証エゾシカ肉の存在を伝え、皮や角の利用も含めた駆除エゾシカを有効活用する文化の普及を進めている。

エゾシカがもたらす被害の状況や、食肉としての価値、認証肉の紹介、皮角の利活用までをまとめた「もっと知ってねエゾシカのこと」講座の開催のほか、栄養士や保育士を目指す学生に対しては、地域の課題となっているエゾシカ問題の解決等を議論しながらの調理喫食機会を提供している。

消費者向けには、家庭料理用シカ肉レシピの提供、子ども向けには、エゾシカ肉や皮、角の利活用や、エゾシカに係る職業の授業を行う等、対象者の特性に合わせたセミナー等を多数実施。



受賞コメント

人口減少の中、エゾシカ（野生動物）が増加していくと推察されている状況下、大切な命の利活用は必須案件です。私達の生活を守るための頭数管理において犠牲となる命の利活用率は2割弱。

エゾシカ肉を食べる、皮（革）・角を使う文化を後世に伝承していかなければならない中、このような賞を受賞させていただけたことは、大変意味のあることと心より感謝しております。

エゾシカをより身近に感じてもらい、有効活用をお一人でも多くの方に自分事として考えていただけるよう、そして私の活動の根源である利活用率を8割へ転換させるため引き続き頑張ってまいります。

